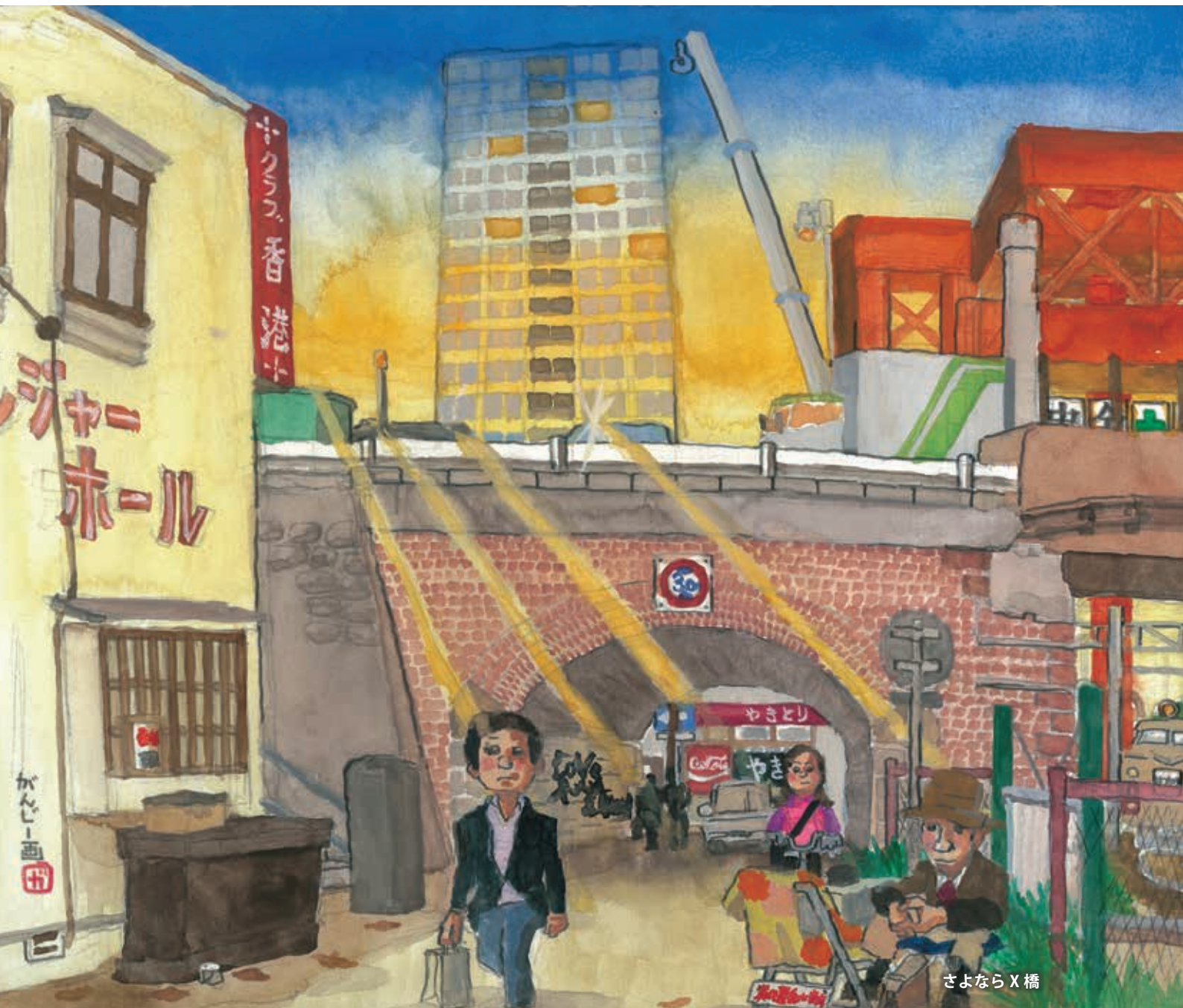




宮町のイベントキャラクター
みやっち

038PRESS vol.15

新春号



さよなら X 橋

今季の特集
P2~P3

宮町を 創業のメッカに

P4……鳥居のある風景

P5……第 15 回お宮町なるほどツアー

P6……NEWS&TOPICS (地域情報) / 第 8 回歴史コラム

P7……東京余話 vol.10 / 第 15 回教えて浄圓房さん！

P8……学校情報 / omiyamachi ほっとすべす No.03 / 編集後記



編集

お！宮町地域情報編集局
〒980-0012 仙台市青葉区錦町二丁目4番48号
(東六コミュニティ・センター内)
TEL 090-7932-5021(千葉)

ホームページ [038 プレスへようこそ](#) [検索](#)

ブログ [おみやプレスブログ](#) [検索](#)

宮町商店街のホームページ お宮町・混む <http://omiyamachi.com/>

宮町を

創業のメツカに

JR仙台駅に隣接する宮町地区。

商店街には酒店や仙台みその醸造元、菓子店などの老舗と新たに開業した店舗が並んでいます。住宅地の中にも専門学校や数多くの企業があり、町を行き交う人たちも学生から高齢者、勤め人など実にさまざま。

消費者のニーズや価値観の異なる人たちがひしめき合って暮らす宮町は、新たなビジネスが胎動するまちとして、近年、注目を集め始めています。



とまめや
兔豆屋

2014年8月に中江郵便局の西側に開店した豆腐店

国産大豆にこだわり、大豆の濃厚な甘みを活かした豆腐を作ります。店主の安達圭介さんは「価格は少し割高ですが、若い主婦層など食の安全を重視している人たちの関心が非常に高い」と手ごたえを感じています。「その日に販売する分のみを製造販売する古き良き時代の買い物習慣を大切にしたい」と安達さんは語ります。

起業者、震災後に増化傾向

2014年8月に開業した「兔豆屋」が店に向け2年間にわたって支援を受けたのがAER7階にある仙台市産業振興事業団。ここでは創業支援や経営改善を支援しています。事業団の笠間建氏（37）によれば、新たな事業所が生まれる割合を示す「創業率」で見ると、仙台市は全国で第4位に位置。3年後には1位を目指しているといいます。

東日本大震災後の潮流として笠間氏は「震災で職を失った人たちが起業したり、自己実現や地域活性化を目標に起業したケースも増えているのは特徴。後者は女性が多い」と説



仙台市産業振興事業団
笠間 建氏

明。自宅を改装し地域に開かれた喫茶店を開業するなどの事例もあったといえます。



株式会社ゆいネット
代表取締役 稲葉 雅子氏

ただ、起業を目指してはいても実際に一歩を踏み出すのは難しいもの。様々な悩みや課題を整理し、起業を後押しする仕組みが必要で。宮町地区でもそういった取り組みがスタートしています。その一つが仙台市が実施している「ちっちゃいビジネス開業応援塾」。喫茶店や飲食店、ネットショップなど、小さなサイズの開業を目指す市民向けの講座を行っています。花京院で開業応援塾を運営する「株式会社ゆいネット」の稲葉雅子社長（52）は「受講者の多くは女性で、年々受講者が増えている」と手ごたえを語ります。

今年4月にTRY 6に出店した「カラーピー
ンズマーケット」の遠藤宏美さん。近い
将来、夫の博さんとバルーンアレンジメ
ントの店を構えるのが夢だそうです。



創業する人たちを待ち続けるような受け身的な姿勢で
はなく、宮町に起業者を導く仕組みを創り出す。これに
よって商店街全体を活性化することができるはず。



創業スクエア
武藤 亮氏

話していま
す。
商店街が戦
略的に誘致
を
産業振興
事業団の笠

創業支援やブランド開発支援を行っている
「創業スクエア」の武藤亮氏（36）は「学生
など若い人が住むまちが宮町の特徴。古い商
店が多くあり、それだけ事業を持続してきた
ノウハウが蓄積されているはず」と分析。「若
い世代と商店主の知恵の融合が可能になれば
新たな事業が生まれやすい環境が作れる」と

高まりを見せる仙台市民の創業マインド。
それを支えるソフト面も拡充傾向にあります。
では、宮町が新しいビジネスを積極的に受け
入れるまちとして、自ら活性化を図っていく道
はあるのでしょうか。

起業前の「修行」の場も
クリスマスロード商店街の一角にある「東北ろっけ
んパーク」。その2階にチャレンジショップ「TRY
（トライ）6」があります。個性ある6つの店が
並んでいます。各店の広さは1坪ほど。実は
ここは新規開店を目指す人たちの「お試し」の
場なのです。いきなり開業するのではなく、3
～6か月間修行することが出来ます。施設のス
タッフも常駐しており、経営のアドバイスを受
けることができます。出店者同士の意見交換が起
業に向けた刺激にもなります。

間氏は「商店街の魅力は多様な店が存在する
こと。成り行きに任せるよりも商店街振興組
合が戦略を立てたうえで、これまで商店街に
はなかった業態の店舗を積極的に誘致するな
ど、戦略的に商店を配置する必要がある」と
強調。「商店街の活性化で欠かせないのは、各
個店の魅力を高めること。地域で不足してい
るニーズをとことん探る姿勢が重要」と問題提
起します。

支援策拡充で創業者誘引へ

宮町商店街振興組合（佐藤広行理事長）で
は、新規創業者の支援として組合のホームペ
ージ（HP）に店舗情報を掲載。宮町地区に新
たに出店した店の情報を消費者に発信するこ
とで集客につなげます。組合への加入如何にか
かわらず載せているといいます。

佐藤理事長（53）は「新規店舗やバラエティ
に富んだ店が立ち並ぶことが町にぎわいを
与え結果として町全体の魅力となる」と新た
な企業者の参入を歓迎。今後はHPによる新規
店舗の情報発信に加え、起業希望者向けのセ
ミナーや相談会を実施するなどし開業準備軍
を応援したい考えです。

「宮町商店街として新規事業を後押しした
い。息の長い経営が可能で、宮町にしかない
個性的な店を
増やすことが結
果的に豊かな町
になる」佐藤理
事長は力を込め
ます。



宮町商店街振興組合
理事長 佐藤 広行氏

商店街には生きた「教科書」と「先生」があふれています。先
輩経営者の経験に触れることは創業の糧になるはず。宮町地区で始
まろうとしている支援の仕組みは、商店街に新たな風を吹き込むこ
とになるでしょう。

取材を終えて



かつて北海道旭川駅前にあつ
た百貨店「丸井今井」。旭川市
民から「丸井さん」と親しまれ
た同店は近隣の商店街にも客の
流れを作り出すなど互恵関係を
築いていました。

しかし丸井今井は2009年
に閉店。危機感を持った駅前商
店街は一計を案じます。個店の
魅力を高めることがにぎわいの
維持につながるだろう、と。

店の存在意義は。接客対応。
消費者目線での商品の再評価
…。無数の問いと試行錯誤の先
に商店街が生き残るヒントがあ
りました。

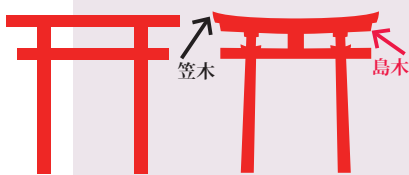
宮町地区に新たな起業者を呼
び入れるための支援策だった、
受け入れる側の商店街の心構え
を探ろうと識者に話を聞きまし
た。印象的だったのは、商店街
が丸になり取り組みを進める
ことや個店の魅力を高めること
が不可欠といった指摘です。

緊張感と攻めの姿勢が商店街
の維持発展には欠かせない。
5年前に旭川で見聞きし、考
えたことを思い出させた取材
でした。

（水沼 幸三）

鳥居の種類

神明系（島木なし） 明神系（島木あり）



2015 神々しい 鳥居のある風景



取材班で分担し、宮町界隈の鳥居を探し歩きました。すると路地奥などに、普段あまり見かけることのない鳥居が数多くありました。



白水神社 台原
創建 900 年代?



小松島不動尊 小松島
創建 不明



小田原明神宮 柗江
創建 718 年

この地最古の神社。国府 / 多賀城の設置（724）より6年早い。当初の呼称は不明。小田原の名は江戸期以降のもの。（伝承）



朝日神社 上杉
創建 963 年の説あり



福澤神社 宮町
創建 788 年



雷神社 高松
創建 1700 年頃



仙台藩七北田刑場に縁りの
青笹不動尊 堤町 創建 不明

街中から七北田処刑場に行く北根街道の周辺に青い笹の葉が茂り、泉が湧いていた。四人はそこで末期の水を飲まされたという。その泉のほとりに置かれていた石碑をお祀りしたのが、青笹不動尊の始まりと言われている。



小田原八幡 弓ノ町
創建 1058 年



2015 未



光禅寺 上杉
創建 858 年



宇和島伊達藩の忠臣を祀る
和霊神社 台原 創建 不明

宇和島市にある和霊神社の分霊。東一番丁にあったが、立町通りに遷り、1973年に現在地に。祭神は宇和島藩で藩政改革に努めた山家清兵衛公頼。産業興隆の守護神とされ、一番町フォーラス屋上にも分霊がある。



金蛇水神社 一番町
創建 989 年 分霊社

一番町・三越南側にあるこの神社は、岩沼市金蛇水神社の分霊社。商売繁盛・金運円満の神として崇敬される。



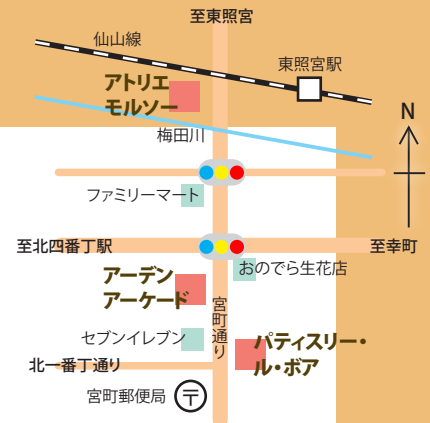
和光神社 鉄砲町
創建 1600 年頃



塩竈神社 JR 仙台駅東口
創建 1672 年

第15回お宮町なるほどツアー 身近な商店街を巡る旅

今回は、J R 東照宮駅近くの骨董屋さんから北一番丁角のケーキ屋さんまで宮町通りを南下しました。宮町を彩る個性的なお店を巡り、新たな魅力を発見したツアーでした。



古いものに癒され、歴史に想いを馳せる atelier Morceau (アトリエモルソー)

平成 21 年の創業時に店主の佐々木さんが全てご自身で内装を手がけたという店内は、まるで別の国・別の時代に迷い込んだよう。美しく配置されたグラス、食器や装品などアンティークの数々は、主にフランスなどを飛び回って厳選した逸品。また、大正・昭和の日本の名品も揃い、新たな魅力に気づかれます。その優れた品揃えは「パリにもない」と評されたほど。県外にもファンが多く、東京から美大の教授やデザイナーなども足を運びます。インテリアデザインも手がけており、「アンティークな内装をお考えの方はお気軽にご相談ください。宮町全体でさらに個性的なお店を増やせれば」とのこと。

営 12:00 ~ 19:00 休 日曜・月曜 住 青葉区宮町 5-5-1
Tel 090-6626-2455 HP <http://atmorceau.exblog.jp>



プレゼントを買うならここで! Arden Arcade (アーデン アーケード)

宮町 3 丁目に面したビルの 2 階にある、輸入雑貨・ヴィンテージ雑貨のお店です。「自分自身が好きな古い物、今の商品にはない価値や雰囲気のある物を展示販売しています。多くの人に生活雑貨の魅力を知って頂きたいと思い、平成 25 年に店を始めました」とオーナーの石井さん。

店内には、手ごろな価格のアメリカのキッチンウェアを中心に、日本やヨーロッパの雑貨、年代や生産国にこだわらずセレクトした「使える」ヴィンテージの品物がいっぱい。中でも一押しはマグカップ。これからの季節、プレゼント選びにはピッタリのお店です。

営 12:00 ~ 21:00 休 水曜日 (年末年始は除く) 住 青葉区宮町 3-8-35 2 階
Tel 022-797-6401 HP <http://s.ameblo.jp/gk-all-work/>



「038 プレスを見た!」で
5% Off ※ 1 月 1 日 ~ 31 日

3つの“エン”を運ぶオレンジ色のケーキ屋さん Pâtisserie Le'bois (パティスリー・ル・ボア)

オレンジ色の外観とオーナーパティシエの顔写真が目を引く、宮町通り沿いに平成 26 年 3 月にオープンしたての新店。技術の向上を目指して日本全国のお店で 18 年修行し、ついに自分のお店を開いた店主の五十嵐さん。賑やかさに魅かれて選んだ宮町には「人の温かさ」を感じているとのこと。さっそく街の名前を冠した「宮町ショコラ」や「お宮町ポテト」を開発しました。他にも可愛いキャラクターチョコなど、他にない商品に力を入れています。モットーである、演出の「演」、人の「縁」、円満の「円」に満ち溢れた「お菓子の杜」です (ボアとは「森」のこと)。

営 10:00 ~ 20:00 休 水曜 住 青葉区宮町 2-3-11
Tel 022-224-6736 HP <http://sendai-lebois.com/>



「038 プレスを見た!」で「クッキー」プレゼント
※ 1 月 1 日 ~ 31 日

今回の ご案内

今回は右の 3 店を巡ります。参加希望の方は、氏名・連絡先を明記のうえ、メール、または FAX でお申込みください。

メール info038press@gmail.com
FAX 022-223-7988

● 阿部八酒店

● 兎豆屋ーとまめやー
(お豆腐専門店)

● 麺屋よか○
(ラーメン店よかまる)

日時 1 月 31 日 (土) 15:00 ~ 17:00 (15:00 にペットショップさまん前に集合)

参加費 1,000 円 定員 6 名

8年ぶりに東六地区地域懇談会開催!

青葉区主催の東六地区地域懇談会が11/25(火)の午後16時に東六コミュニティセンターで、地域の全町内会長及び各団体長30余名が参加、行政側は青葉区長以下各部署の責任者10数名が出席して開催されました。

町内会側からこれまで懸案の地域課題、以下の4項目を要望提案しました。①小田原8丁目公園の環境整備(杉山むつみ町内会) ②災害時資機材の保管庫対策(車通南部町内会) ③小田原8丁目付近の道路交通標識等安全対策(金剛院丁東部町内会) ④小田原災害公営住宅のコミュニティづくり(東六地区連合町内会)

行政側と率直な意見交換を行い、即解決には至らないまでも、今後関係部局と継続的に話し合いながら問題の解決に向けて努力することを確認しました。

(東六地区連合町内会 会長 今泉 清二)



第3回国連防災世界会議 in 仙台 パブリックフォーラムに参加します

★日時 2015年3月16日(月) 14:00~16:00

★場所 仙台市民活動サポートセンター 6F セミナーホール

★テーマ:「市民協働と防災/支える・つながる」企画事業

★主催: お!宮町地域情報編集局

・どなたでも入場できますので、多くの方のご来場をお待ちしております。詳細については、3月上旬に配布予定のチラシをご覧ください。

NEWS & TOPICS 地域情報

五城中学校の生徒が被災地訪問活動



五城中では防災教育の一環として、11月8日(土)に被災地訪問活動を行いました。参加したのは有志生徒70名です。

最初に荒浜小に行き、震災発生から

避難者が救助されるまでの様子を荒浜小の先生から聞きました。屋上から周囲を眺めると、住宅が全て流されて一面更地になっており、生徒は言葉を失いました。また、震災以前は防潮林に遮られて見えなかった太平洋がはつきりと見え、無数の防潮林をなぎ倒した津波の威力を実感しました。

続いて行われた奉仕作業では、1学年生徒が荒浜小の清掃を、2・3学年生徒は東六郷小に移動して花壇整備を行いました。この活動後にはどちらの小学校でも行事が行われる予定で、児童が学校を訪れた際に気持ちよく過ごせることを願って作業をしました。



最後に、東六郷小の校長先生から、震災当日から現在に至るまでの話を聞き、復興はまだ途上であることを再確認しました。本校では、今後も防災教育を通じて、復興を担う世代としての自覚を高め、人を思いやる心を育てていきたいと思います。

(五城中学校 教頭 福田 元明)

歴史
コラム
8

平泉の 世紀

最後の 女人平泉

安養院比丘尼所縁の地「興兵衛堤(沼)」周辺を歩くと、建礼門院徳子の石碑があった。道も定かならぬ高台に、なぜ徳子の碑があるのだろうか? 甚だ奇異な印象を受け、しばし想いを馳せた。

仙台近郊の秋保や定義に、平家の落人伝説が伝わり、宮城の地に何があるのだらう、と思わないではいられない。平家直系でただ一人最後まで生き残り、鎌倉幕府から生を許された建礼門院は、京都「寂光院」で一族の菩提を弔い続けたという。享年は、69歳とも、78歳とも伝えている。壇ノ浦で平家滅亡後、実に47年の長きになる。

対して奥州藤原氏(平泉)の一門で、奇跡的に生き残った当時5歳の姫君(秀衡の孫姫)の享年は、20歳とも38歳とも、さらに48歳とも伝えている。仮に後者とすると、一族が減んだ後、43年もの長きに亘り、護持仏「十一面観音菩薩坐像」を戴き、菩提を弔い続けた生涯になる。

方や朝廷で、方や奥州平泉域(青森・岩城まで/日本国土の凡そ四分の一の広域)

で、巨大な勢力を誇った後、滅亡の秋を運んだ一族の末は、見えない縁で繋がるのか、いまなお歴史の一隅を照らし続けている。この兩人こそ、最後の「女人平家」と「女人平泉」ではないかと、筆者は思うのである。日ごろ何気なく暮らしているわが町に、斯くのごとき古代の歴史が、息づいている。

白川 律



「十一面観音菩薩坐像」
仙岳院パンプから了解を得て転写

【付記】

○建礼門院徳子(1155~1191年。別に1223年没の説がある/平清盛の娘)
○「言の葉のもし世に散らばしのはしき昔の名こそとめまほしけれ」建礼門院右京大夫(うきよつだいふ/徳子に6年間仕えた女官)「新勅撰集」に歌の登載時、建礼門院の文字を役名に付した。

○1185年3月24日、平氏滅亡。

○1189年10月14日、奥州藤原氏滅亡。

○安養院比丘尼(推定1165~?)。名も未だ不明。

○「十一面観音菩薩坐像」(奈良時代/行基作)

115歳姫の護持仏は、わが町の「仙岳院」小萩堂に現存(写真)。なお眺海山仙岳院は、嘗て中尊寺(平泉)の別当であった、と寺伝にいう。

27年前の大失敗

確か27年前の今ごろだったと思う。あの新聞社の新米記者だった私は致命的な大失敗をやらかした。

月曜日の午前1時過ぎ、地方の支局で宿直勤務についていると、警察からの一報が入った。

「Y銀行の行員が顧客を殺害した」

それまで、人の死にかかわる取材と言えは交通事故くらいしか経験のない私にとって、衝撃的な内容だった。

ところが、というべきか、にもかかわらずというべきか、今から思えば何とも大胆だが、こともあろうにそのまま寝てしまったのだ。新聞の最終版の締め切り直前、自分の力ではとうてい原稿にするのは間に合わないかと判断してのことだった。

その約2時間後。本社のデスク（取材を指揮し、現場の記者が書いた原稿をチェックする役割）から電話でたたき起こされた。「バカヤロー！」

新聞社にはかつて、朝刊が刷り上がる、互いの最終版を交換する習慣があった（今も一部で残っている）。届いた他の新聞は、すべて一面トップに事実だけを短く突っ込み、大見出しを張っている。私の新聞だけが、自分の責任で記事を行も載せられなかった。おぼろしく支局のSデスクに連絡すると厳しく叱責され、半泣き状態で警察署にすっ飛んでいった。

取材を終えて支局に戻った私を待って

いたのは、恐ろしい形相で原稿用紙に向かい夕刊用の記事を作るSデスクの姿だった。私は取材結果を報告することしかできない。新米記者の失敗に同情してか、警察署の幹部が未発表の情報を耳打ちしてくれたのがせめてもの救いだった。先輩たちも取材に走り回り、何とか一面と社会面の記事を完成させることができた。

嵐のような作業を終えて、さて次の朝刊をどうしようかという時、Sデスクに呼ばれた。本格的な雷が落ちるのかと小さくなっていると、他の新聞に載った一面トップの突っ込み記事をコピーし、さらにファクスの感熱紙にコピーし直したものを渡された。

「これは感熱紙だから、何年かたてば文字が消えてしまう。それまでに一人前の記者になれや」

その後、私は5年ほどして東京勤務となり、20年以上が過ぎた。ふと当時のことを思い出して、「昭和62年」と手書きしたスクラップブックを引っ張り出して眺めることがある。Sデスクの期待には今も応えられないが、感熱紙の文字はもう読めなくなり、感熱紙を使うファクス機も電気店から消えた。早いうちの失敗は、時間が帳消しにしてくれるようだ。



事件を伝える27年前の新聞

第15回



仙台東照宮の

鎮守の森と

青葉通り

ねえねえ浄園房さん、仙台東照宮の奥にはかつて森があったと聞きました。

そうなんじゃあ、昔の仙台東照宮は森閑とした鎮守の森そのものであったと聞くぞ。その仙台東照宮の森と、杜の都のシンボルと言われるケヤキ並木とは深くつながっている。

仙台は1945年7月10日未明、米軍の空襲を受けて市街中心部の大半が焼失したんじや。翌、1946年から戦災復興の土地整理事業が開始され、新街路の建設が計画されたんじや。

通りの名前の愛称を、河北新報社が1947年1月に「新憲法公布と復興大仙台の前途を祝す」として公募

を超える応募のなかか



ら、最多数で選ばれた名前が青葉通り・広瀬通りでう。青葉通りは仙台市のシンボルである青葉山に通じる街路、広瀬通りは広瀬川に至る街路としての意味がこめられておるぞ。



へえ、そうなんだあ！

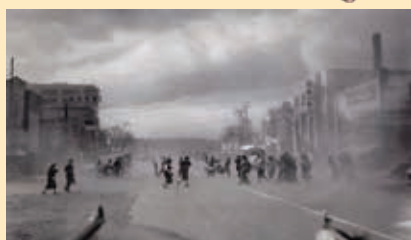
街路の完成を経て並木の整備が始まるが、街路樹の樹種について、ケヤキのほかトチノキ、イチヨウ、トウカエブ、シダレヤナギ、プラタナスなどが候補にあがったが、最終的にはケヤキに落ち着いたんじや。1950年4月3日からケヤキの植樹が始まり、並木が造成されて行くんじやが、

仙台東照宮の奥、鎮守の森と呼ばれた森は仙台宮林署でのう、そこからケヤキを譲り受けて東三番丁から国分町までの区間に植樹したんじや。



青葉通りや定禅寺通りの並木が、シダレヤナギや、プラタナスだったかもしれないなんて、面白ーい！それに仙台東照宮の鎮守の森からケヤキ並木ができたんだね、すごーい！

国分町から大町の間は、埼玉から運んできたケヤキの苗木を用いたが2割しか根付かず、また仙台駅前から東五



1950年代後半の青葉通り

文・取材／千葉富士男
イラスト／がんじー

◆東六番丁小学校	
1月 19日(月)～20日(火)	校内書きぞめ展
2月 27日(金)	授業参観
3月 1日(日)	スクールバンド卒業コンサート/シルバーセンター
3月 19日(木)	卒業式
3月 27日(金)	離任式

◆五城中学校	
2月 26日(木)	卒業生を送る会
3月 7日(土)	卒業式

◆北六番丁小学校	
1月 23日(金)～30日(金)	校内書きぞめ展
2月 7日(土)	「旧正月を楽しもう」の会
3月 19日(木)	卒業式
3月 27日(金)	離任式

◆常盤木学園高校	
1月 14日(水)	推薦入試
1月 28日(水)・30日(金)	一般入試
3月 1日(日)	卒業式

今号の表紙画
さよなら X 橋



先日、最後まで残っていたレンガ造りの部分も完全に取り壊されました。長い間、東六番丁の往来を見守り続けてきた「X 橋」。本当にごくろうさまでした。(がんじー)

* 表紙絵の制作にあたり、庄子喜隆氏の写真集「新版昭和の X 橋界隈」を参考にさせていただきました。

何気ない風景に溶け込んだ『まちの一コマ』

Omiyamachi ほっとすぺーす No. 03

あの子は…みやっち!

元気いっぱい ニコニコしてる この町のどこかで会えるよ
もし会えたら、声をかけてみてね



誕生から 1 年、038PRESS 発信のご当地ゆるキャラ『みやっち』。宮町のイベントや、青葉区民まつりにも登場しました♪

お菓子にも
なったよ♪



ル・ボア
(p5) で
販売中!

◆ SPECIAL THANKS ご協賛へ感謝を込めて



アエル株式会社 様
仙台市青葉区中央 1 丁目 3-1
TEL: 022-723-8000



積水ハウス(株)仙台支店 様
仙台市青葉区一番町 4 丁目 6-1
仙台第一生命タワービルディング 5F
TEL: 022-722-3640

資産運用と有効利用のベストパートナー

株式会社マイザ 様
仙台市太白区長町 3-4-16
TEL: 022-247-9830



**西松建設株式会社
北日本支社 様**
仙台市青葉区大町 2-8-33
TEL 022-261-8161

**株式会社
アサヒ建築設計事務所 様**
仙台市太白区長町 3-4-16
TEL: 022-247-5230

**協同組合みやぎ
マルチメディア・マジック様**

この情報紙は、地域の情報発信と共有を通じ、地域活性化につなげることを目的としたフリーペーパーです。この趣旨に賛同いただき、より多くの企業や団体、個人の皆様でご協賛を通じて事業を支えてくださいますよう、お願い申し上げます。

038 プレス info



ホームページ



ブログ

新しい年の始まりにふさわしい『宮町を創業のメッカに』いかがでしたか。起業に興味のある方は是非、この3つの団体を活用して宮町商店街へいらしてください。近所の鳥居をくぐり「今年も良い年でありますように」

取材した各店の方々、また編集局の皆様熱意や創意に触れ、宮町は素晴らしい地域だと感じています。宮町の将来のますますの発展が楽しみです。

平野 尚也

田中 尚子

水沼 幸三

商店街の店先で交わした人と人とのやりとりほつりした遠い記憶。すべての買い物がインターネットや大型店で足りる今、本当にこれでいいのかな。そんな我が身を鑑みつつ臨んだ巻頭特集でした。

取材で分かったのは、商店街に起業者を呼び入れる試みは商店街の魅力高めるとのこと。「お宮町が創業のメッカに↓お宮町どっと込む」。正月らしく縁起良い夢を抱き、ペンをとるのだった。

編集後記

編集メンバー

主筆

海老一朗

編集長

千葉富士男

編集委員

遠藤真吾

加藤久枝

鹿野恵美子

加納実

菊池ゆう子

木村くみ

佐藤広行

佐藤正則

佐藤靖

穴戸俊彦

白川律

高橋孝敏

田中尚子

永田良治

針生英一

平野尚也

三岡昭博

三嶋伸一

水沼幸三

和田政宗

(50音順)

顧問

今泉清二

アドバイザー

内海睦夫

イラスト

がんじー

デザイン

針生奏子

星瑞枝